



PTAスローガン『「みんなで創り、みんなで守り、みんなで育てよう」
～できることを 全ては子どもたちのために～』

事故が起きないように注意しあおう！

新入学、進級などと子どもたちの環境も変化し、4月は緊張しながら小学校生活を送っていたと思いますが、3ヶ月近く経過して小学校生活にも慣れてきて、子どもたちの行動範囲が広がってきたのではないのでしょうか。

反面、この時期から交通事故や声かけ事案の発生件数が、増えてくる時期でもあります。元気に夏休みを迎えられるよう、皆さんに注意して欲しいことを特集したいと思います。

◆ 下校中の道草や帰宅後の外出時の注意点

先日、学区内の某地区で、ごみステーションの中に小学生が一時的に閉じ込められてしまうということが発生しました。

幸い、近所の人がすぐ気づき無事でしたが、これから暑い日が続く時期を控え、最悪の場合は閉じ込められたまま熱中症等になり倒れてしまうことも考えられます。

また、梅雨時の大雨により普段は水量の少ない用水路等が、増水することも予想されます。過去には通学路脇の用水路に子どもが落ちた事例もあります。

ごみステーションや用水路に限らず、下校中の道草や帰宅後に外出した際は、子どもだけで危険な場所に立ち入り遊んでしまうことが心配されますので、次のことに注意しましょう。

<注意するポイント>

- ・ 貯水池や用水路、立入禁止となっている場所には、近寄らないように教えておく
- ・ 立入禁止の場所でフェンス等が壊れていたり、安全上の問題を発見した場合は、施設管理者や小学校等に連絡する
- ・ 危険な場所周辺で子どもたちが遊んでいる時は、遠慮せずに注意する
- ・ 大雨の後には、川や用水路等に近づかないように教えておく
- ・ 川などで友達が溺れそうになったら、子どもだけで助けようとしないで大人の助けを呼ぶ
- ・ 公園などで遊ぶときは、暗くなるまえに帰るように教えておく
- ・ 道路では遊ばない

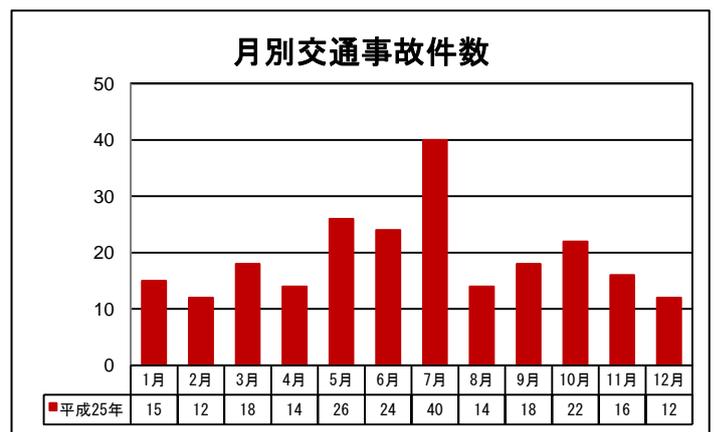


◆ 交通事故に対する注意点

平成25年中に小学生が当事者になった交通事故は、右グラフのとおり4月に一旦減少したあと、5月以降に増加しはじめて7月に40件で最多となる特徴があります。

4月頃はまた緊張感があるためか子どもたちも注意していますが、慣れてくると活動的になるためかと思われます。

また、次ページの学年別件数のグラフでは全体的に低学年が多く、特に1・2年生より3年生の方が交通事故に遭う割合が多



くなっています。

登下校時の注意点については、第102号でも説明していますが、次のことに注意しましょう。

<注意するポイント>

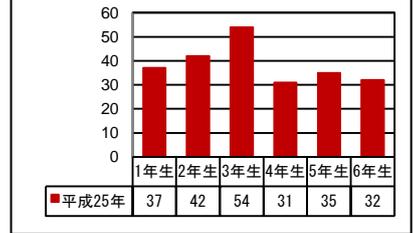
- ふざけて走ったり、道路に飛び出さない
- 登下校は1列になって歩く
- 道路を横断するときは、必ず左右の安全を確認する
- 左右を確かめるときは、道路の一步前で止まって確かめる
- 歩道や路側帯、歩行者用のゾーンの中を歩く

また、右下の時間別発生件数のグラフでは、下校後の午後3時から午後6時までが全体の51.5%を占める119件で特に多くなっています。最近では自転車に関連する交通事故の増加が問題になり、道路交通法が改正され自転車対策が強化されています。子どもが自転車で出かけるときは、次のことに注意しましょう。

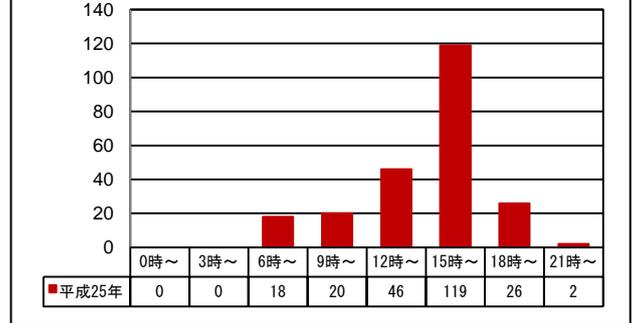
<注意するポイント>

- 自転車に乗るときは、ヘルメットを被る
- 道路を横断する時は、降りて自転車を押して渡る
- 自転車で歩道を走るときは、歩行者に注意して車道側を乗る
- 交差点を曲がる時は、スピードを落とし車道にはみ出さないように注意する
- 道路で遊ばない

学年別交通事故件数



時間別交通事故件数



個人登校日の様子から…

注意力が低下していませんか？

毎月第1学年の学年見守りの日に個人登校を実施しています。7月1日も個人登校日でしたが、回を重ねるごとに、登校の様子は芳しくない感じがします。

やはり登校班とは違って、気の合う友達と一緒に登校できるので、楽しい気持ちが勝ってしまい、道路を広がって歩いたり、寄り道をしながら歩いてくる子どもが増えてきています。

個人登校の目的は、一人で登校するときでも交通ルールを守り、安全に登校できることを身に付けるために行っているのだと思います。

小学校での交通安全教室で学んだことを実践できるよう、ご家庭や小学校で振り返りをしておきましょう。また、ただ漫然と個人登校をするのではなく、それぞれで「めあて」を立てて目的を達成する動機付けをすることも一つの方法だと思います。

➤ こんなことがありました

- 友達と広がって歩いている
- 友達との話に夢中になっている
- あちこちで寄り道をしながら歩いている
- 友達と遊んでいて、道路の真ん中まではみ出している



見守り隊の腕章は、見守り活動をする際はもちろんですが、授業参観等の学校行事や、学年行事の時にも着けていただくようお願いいたします。

多くの方が腕章を着けることで、地域における監視の目が増えることにつながり、不審者の近寄りにくい地域作りにつながります。